

大きく膨らむ 20歳の夢

1月11日、成人式が行われ、本市では747人の方が大人の仲間入りをしました。今の二十歳の皆さんは、どのような目標に向かって頑張っているのでしょうか。今月号では、「大きく膨らむ20歳の夢」と題し、新成人4人のインタビューをお届けします。



あさひりょうた 浅比涼太 さん (表郷三森)

誰からも頼られる人になりたい

「誰からも頼られる人になりたい」と話す浅比涼太さん。携帯電話の製造会社で購買業務を担当している浅比さんは責任感が強く、一日も早く上司や先輩から「お前なら大丈夫だ」と仕事を任されるのが目標です。そのため、上司や先輩の仕事を見て学び、知識などを習得することを、日々心掛けています。また、グローバルな会社であるため、今後は語学の勉強にも力を入

周りをよく見ながら行動したい

「自分の発言に責任を持ち、周りのことをよく見ながら行動する人になりたい」と話す白岩麻美さん。医薬品の製造工場で製品検査をしている白岩さん。働き出してから、責任感が芽生え、計画を立てて行動することで、上手に時間を使えるようになりました。

また、速さではなく正確さを大切に、一つひとつ丁寧に仕事をするように心掛けています。これからは、職場で必要な資格を取得したり、趣味を増やしたい、また、両親をそばで見守り、小学生から続けている大好きなバドミントンなどのスポーツができる環境が整っている白河に、住み続けたい、と思っています。

「将来、祖母や両親に子どもの顔を見せられたらいいなと思います」と話す白岩さん。優しさの高い志を持つ彼女から、白河の明るい未来を感じました。



しらいわまみ 白岩麻美 さん (東釜子)



うすいゆりこ 薄井裕理子 さん (舟田)

春からはパティシエとして頑張りたい

「パティシエになって、いつかはカフェを開きたい」と話す薄井裕理子さん。薄井さんがパティシエを目指したきっかけは、子どものころに母がよくお菓子を作ってくれたことと中学校での職場体験でした。職場体験で訪れたのは、市内の洋菓子店。不器用でできるか不安だった自分に店長が「大丈夫、何とかなるよ」と声を掛けてくれたのが励みとなり、そのときからパティシエになると決めてい

ました。その分野の専門学校に進み、製菓衛生師の資格を取得、4月からは職場体験をした洋菓子店に就職します。現在は専門学校での実習と就職先でアルバイトをしながら、お菓子作りの技術を磨いています。「ナチュラルな素材をいかしたお菓子を作りたいです」と明るい笑顔で話す薄井さん。作ったお菓子で、たくさんの人を笑顔にするのが楽しみです。

少しずつ自立していきたい

「親に迷惑を掛けたくないで少しずつ自立したい」と話す出田賢人さん。今回、成人式の実行委員長を務めました。「不安はありましたが、みんなに助けってもらったおかげで務めることができました。とても感謝しています」と周囲への感謝を口にしました。

夜勤がある工場で働く出田さんは、質問にすぐに答えてくれる今の上司のようになることが目標です。また、「友人はありのままの自分を見せられ、何でも相談でき信頼できる存在です」とも語り、休日に友人と過ごす時間がリフレッシュになっています。家族への思いも強く、働き出して親のありがたみを改めて感じ、親孝行をしたいと考えています。「自立するため、料理にも挑戦したいです」と優しい笑顔で話す賢人からは、家族や友人への感謝の気持ちが伝わってきました。



でたけんとう 出田賢人 さん (大信隈戸)